

ミリオンでラッキー

大松 達知

銀葉千年木。ぎんようせんねんぼく。

と、和名で言ってもおそろくわからない植物を育てている、というか机上に置いてある。観葉植物が近くにあると、ストレスや不安が軽減されるらしい。それに、認知能力や問題解決能力も高まるという研究もある。私も、なんとなく効果を感じているような、気がする。

その植物。本名とか学名は、ドラセナ・サンデリアーナ。100円ショップで「ミリオンバンブー」として売られていた。あの、緑色の茎に竹のような節がある植物。その茎を30センチくらいにして数本で編み込みにしたり、くるくる巻いたようにして売られているのを目にするやつ。ウチのは高さ5センチくらいのもが2本のみ。ミリオン円でも、ミリオン年でもない感じ。

それはそうと、別名はあって、ラッキーバンブー、幸福の竹、万年竹、富貴竹、開運竹、長寿の竹。竹じゃないけれど、竹とみなして風水的に崇めるところ、中華的な発想

力がたくましくていい。置いておくだけで生理的にも心理的にも良いと証明される前からも、経験則として大切にできたのだらう。原産はアフリカらしい。

また、この植物「耐陰性」があるという。漢字だから意味はわかる。陰に耐えるって、星飛雄馬の明子お姉さんっぽい。それに「ハイドロカルチャー」も可能だという。従来の水栽培とはすこし違うらしい。ハイドロは「水の」、カルチャーは「栽培」だけど。(文化／カルチャーとは、心を栽培するもののこと。)

そんなことを考えながら、これはミリオンでラッキーなんだと信じ込んでいると気分が良くなってきた。

話変わって、

・石畑と名乗りはじめた先人の両手のひらの血豆をおもう

石畑由紀子『エゾシカ／ジビエ』

に出会った。歌集タイトルからもわかるように、北海道(帯広市)出身・在住の作者。ご先祖さんの開拓のご苦労がこの名前に凝縮されている想像だろう。血豆がリアル。そこからへこの姓を離したくない。きみもまた見覚えのある顔で黙った)につながる。夫婦別姓を認めない日本政府。結婚の障害にもなる場合もあるそうだ。中国・韓国は夫婦別姓だけれど、妻が「夫の家族」に入れないのだとも言える。名前はほんとに大切なもの。

銀葉千年木もかなりのキラキラネームなんだけどな。